

小学4年生と1年生の息子の子育てに日々奮闘中！

市政報告

2018年1月発行

佐賀市議会議員
社会市民クラブ

富永あけみ通信 vol.1

ごあいさつ

初めまして。

2017年10月15日に行われました

佐賀市議会議員選挙において、

多くの方々に支えられ議員としての一歩を
踏み出しました、富永あけみと申します。

まだ、スタートしたばかりですが
市民の皆さまの負託により選ばれ
市民の代表であるということを忘れず
頂きました一票一票の重みを
しっかりと受け止め
市政発展に取り組んでまいりますので
どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



富永さんちのお正月



委員会

- ・総務委員会
- ・議会広報広聴委員会

会派

- ・社会市民クラブ

富永あけみのつぶやき

この市政報告を編集しているのは年末年始。冬休みの宿題はそっちのけで正月支度を楽しむ息子たち。核家族ではあるものの、自分が子どもの頃、ばあちゃんから教えてもらったことはしっかりと受け継いでいきたいと思います。

2017年11月議会

11月28日～12月19日の会期で行われました。

秀島市長4期目への所信表明

6つの柱



1 経済・産業の活性化

3000人の雇用確保、北部・南部の観光資源や歴史素材を活用した観光振興、市產品の販路開拓、農業の担い手育成や稼げる農業の確立、市産材の利用促進と災害に強い森林保全、海苔の生産日本一の継続による漁業振興、佐賀駅から伸びる南北の市道整備を行う。

3 子育て・教育環境の充実

待機児童の解消・放課後児童クラブの受入枠の拡大による子育て環境の充実、また、教職員の多忙化解消による児童・生徒と向き合う時間の確保に努め、教育環境の充実を図る。

5 福祉・健康の増進

住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域福祉・地域づくりの推進、高齢者見守りネットワークの推進、障がい者福祉による就労支援や難病を抱えた方々への支援、健康寿命の延伸につながる新たな取り組みの検討を行う。

2 バイオマス産業都市の推進

バイオマス資源を通じた循環型社会の構築のため、ごみの減量やリサイクルの更なる促進と高度化への取り組み、及び新技術によるバイオマス資源の高度利用を促進し、市民のリサイクル意識の更なる向上を図る。

4 文化・スポーツとコミュニティの推進

明治維新150年を契機として、佐賀の偉人や偉業を周知し、郷土への愛着と誇りを感じていただくよう努める。国民体育大会、全国障害者スポーツ大会に向けての環境整備やおもてなしの充実を図る。

6 安心・安全のまちづくり

大雨による浸水被害を軽減するためハード・ソフト両面からの被害軽減対策の強化、人口10万人当たりの人身交通事故発生件数全国ワーストワンからの脱却に向けた交通事故防止への取り組みを行う。

11月補正予算

主な内容

補正予算総額は約7億3,900万円。
補正後の予算総額は約961億8,600万円となり、前年同時期と比較し、4.4%の減となります。

子どものための教育・保育給付費

￥ ￥ ￥ 4億6,335万円

保育事業者等に対する保育士等の処遇を改善するための入件費加算分等の給付経費

障害児通所支援事業

￥ ￥ 1億7,200万円

障がい児への日常生活の基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等を行う通所施設に対する給付経費

ふるさと納税推進事業



1,285万円

ふるさと納税制度を活用した寄附者へのお礼品の発送等に要する経費

スポット緑化整備事業



493万円

神野公園および蓮池公園の土壤改善、樹種転換等に要する経費

鍋島児童クラブ館整備事業



340万円

鍋島小学校敷地内における児童クラブ専用館を整備するための設計に要する経費

富永あけみの一般質問

①「子育て環境の充実」について

子どもへのインフルエンザ予防接種助成について質問しました。



共働き子育て世帯が増えています。

育児をしながら働くうえで、困るのは子どもの突然的な病気であり、特にインフルエンザ等の感染症にかかったり、学級閉鎖にでもなれば、それに合わせて親も仕事を休まなければなりません。

もちろん、子どもの病状も心配です。しかし、仕事が突然滞ってしまうことや、休むことでの経済的損失もあります。



予防接種の受診は、家計にとって大きな負担です。

せめて何らかの経済的な支援や助成制度があればと考えます。

現在、県内11市町で助成制度が導入されていますが(下表参照)、佐賀市として導入の可能性は?

執行部

執行部

執行部

現在インフルエンザ予防接種は任意となっている。

まずは予防対策の取り組みとして、手洗いうがいの励行、食事睡眠をしっかりとる等、毎年広報で周知している。

感染防止の効果、市の財政負担、接種後の副作用の問題等もあり、佐賀市としてはまだ実施に至っていない。
国および他市町の状況等の把握に努めしていく。



この間、県内の自治体でも増加傾向にあるということと、佐賀市も将来像として「豊かな自然と子どもの笑顔が輝くまちさが」というスローガンを掲げているとおり、一歩でも前進した取り組みをお願いします。

■既に実施している県内他自治体の助成状況

伊万里市	小学校就学前の幼児	鹿島市	中学3年生まで	大町町	0歳～中学3年生	太良町	0歳～中学3年生
2回目の接種を受けた場合、 1人に2,000円助成	1回1,000円 13歳未満:2回／13歳以上:1回			1人2,000円 0～13歳未満(2回接種)1回1,000円×2 13歳以上(1回接種)1回2,000円		1回1,500円 0～13歳未満(2回接種)1回1,500円×2 13歳以上(1回接種)1回1,500円×1	
武雄市	0歳～中学3年生	有田町	1歳～小学校就学前				
1人2,000円 0～13歳未満(2回接種)1回1,000円×2 13歳以上(1回接種)1回2,000円	2回目の接種を受けた場合 1人に2,000円助成			白石町	0歳～中学3年生まで	玄海町	中学3年生以下
		江北町	中学3年生まで	1人2,000円 0～12歳まで(2回接種)1回1,000円×2 13歳以上(1回接種)1回2,000円×1		1回1,000円(年度内において2回)	
嬉野市	15歳(中学3年生相当)以下 1回1,000円を助成(2回まで)		0～12歳1回目1,000円、2回目1,000円 13歳以上1回2,000円			基山町	0歳～中学3年生 1回1,500円を助成(2回まで)

②「職員の働き方」について



大手広告代理店の女性新人社員の自殺に端を発した長時間労働問題。

長時間労働や過重労働が心身に影響をきたすことは明らかです。



佐賀市においても、メンタルヘルス等での休職者がおられるようですが、対策は?

執行部

事前予防として、超過勤務縮減・年休取得の促進、事後の対策として相談窓口の設置、ストレスチェックの導入など行っている。
長時間労働の要因に関しては、制度改革により国から任される業務もある。
また、イベントや災害等の状況によっても変動している。



熊本地震や九州北部豪雨、水害等の災害時には、急な呼び出しもあったりと、心身ともに疲れ切っておられるようです。

質の高い市民サービスを提供するには、職員が心身ともに健康で働ける環境づくりや働き方は必須です。



制度が変われば、それが実行されるのは現場である自治体職場であります。
休職者や心身に不調をきたす者が発生しないような最善の予防・防止対策について、引き続き実効性のあるものとなるよう要望します。

意見書

意見書とは？

地方議会の意見を国の政策に反映させるため、政府・国会に提出する文書。地方自治法99条で定められており、議員が提案し本会議にかけるもの。



可決された意見書

- 道路整備に係る予算措置の確保等を求める意見書
- 諫早湾干拓事業潮受け堤防排水門の開門を求める意見書

否決された意見書

- 九州電力玄海原子力発電所3、4号機の再稼働に反対する意見書
- 教職員定数改善等の教育予算増を求める意見書
- 労働者の声を踏まえた真の「働き方改革」の実現を求める意見書

決議文

決議文とは？

市民生活に直接かかわる緊急、重大な事項に関し、議会の意思を対外的に表明するために行うための文書。



佐賀空港の陸上自衛隊配備に関する決議文

20対15で可決。

主要二会派によって提出された決議文ですが、普天間基地周辺では、保育所の屋根や授業中の小学校グランドへの米軍ヘリからの落下物事故が相次ぐなど、とても安心して子育てができる環境ではなく、私はこの決議文には反対です。

オスプレイやヘリコプターの墜落や緊急着陸等の事故を受け、県としても「論点整理案」の見直しの動

きも見えるなか、拙速すぎる感は否めません。新聞社の世論調査では反対が賛成を大きく上回るなか、可決はされました。20対15だったということは、市議会総意ではない=市民総意ではないということを、しっかりと受け止め、今後も議論を続けていく必要があります。

【活動報告】

10月	23日 第1回全員協議会
	26日 第2回全員協議会
	28日 兵庫まちづくり協議会主催「Let'sハロウィン」
	29日 三瀬ふるさと祭り
	30日 臨時議会閉会日
	31日 サガ・ライトファンタジー点灯式&パレード
11月	1日 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ開会式歓迎レセプション
	2日 臨時議会閉会日
	3日 佐賀城下秋の骨董市開会式シチメンソウまつり開会式
	6日 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ閉会式
	7日 「子どもの養育を考える講演会」
	9日 新人議員研修
	10日 佐賀市職労現業評議会定例会

11月	10日 連合佐賀東部地域協議会定期総会
	11日 アジア湿地シンポジウム2017
	12日 兵庫小学校フリースクール
	兵庫町民文化祭・農業まつり
	14日 新人議員研修
	15日 佐賀市職労定期大会
	佐賀水道労組定期大会
	17日 佐賀市職労壮年部定期総会
	18日 日本大学校友会佐賀支部定期総会
	19日 兵庫町青少年の主張
	20日 佐賀県消防職員協議会定期総会
	21日 富永あけみ選挙総括会議
	22日 社民党閑連議員市政会議
	24日 佐賀整肢学園労組定期大会
	25日 連合佐賀議員懇談会研修会
	27日 市政対策会議
	28日 11月定例会開会日
	29日 自治労佐賀県本部中部地区協議会総会
	30日 労福協要望書提出

12月	1日 富永あけみ一般質問日
	2日 藤木天満宮神事
	玄海原発再稼働反対集会
	3日 博愛フェスタ表彰式
	佐賀市青少年の主張
4~8日	一般質問
	10日 兵庫校区子どもクラブしめ縄づくり
	11日 一般質問
	12日 一般質問・広報広聴委員会
	13日 総務委員会
	14日 総務委員会
	佐賀空港の陸上自衛隊配備に関する決議文提出抗議行動
	18日 広報広聴委員会
	19日 11月定例会閉会日
	20日 執行部との懇談会
	21日 地方自治講演会
	24日 夢フェスタひょうご2017
25~28日	年末あいさつ回り
	29日 藤木消防団夜警あいさつ

発行元：富永あけみ

連絡先：〒849-0919 佐賀市兵庫北2-1-10 TEL/FAX 0952-77-9307
E-mail tominaga-akemi@po3.bunbun.ne.jp

ご意見・ご要望は
左記連絡先まで
お願いいたします。